



## 最高水準の道路守りへ

人と社会を未来へつなぐ、道のマネジメントを。  
**阪神高速技術株式会社**

阪神高速技術  
〒550-0005 大阪市西区西本町1-4-1 オリックス本町ビル  
TEL:06-6110-7200(代表) FAX:06-6110-7201



HP



Twitter



YouTube



# 維持管理手帳

Maintenance Notebook

点検

Inspection



診断

Diagnosis



補修

Repair



 **阪神高速技術株式会社**

阪神高速技術

# 阪神高速技術って どんな会社？



**阪神高速道路の維持管理を一括管理体制で実施している会社です！**

阪神高速技術は、関西都市圏の経済の大動脈である阪神高速道路の点検、診断から補修までの維持管理を一括管理体制で実施している会社です。

**高速道路の維持管理の一括管理体制は、  
阪神高速技術が国内唯一！**

高速道路の維持管理を点検、診断から補修まで一括して管理している会社は、日本では阪神高速技術だけです。その強みを活かし、高速道路の維持管理に関する専門会社として、常に将来を見据えた提案で社会のニーズに応えていきます。



**あらゆる道路構造物に精通する  
エキスパート！**

橋梁やトンネルなどの土木構造物、道路照明やETC設備などの電気・通信設備、車両重量計や換気システムなどの機械設備、料金所などの建築施設、交通管制システムなどの情報設備など、多種多様な道路構造物に対して、最先端の技術と確かな維持管理手法により、24時間365日の体制で阪神高速を守っています。



ETC設備



車両重量計



料金所



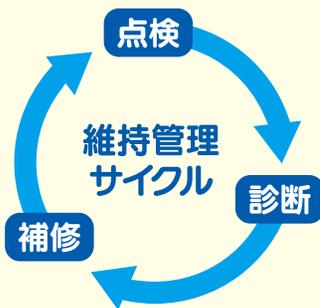
高速道路には橋や舗装の他にも  
いろんな設備があるんだよ!!

# 高速道路の維持管理って なにしてるの？



## 高い水準で 維持管理サイクルを提供

維持管理の基本的な考え方は、点検⇒診断⇒補修の維持管理サイクルを通して、構造物を適切に管理し構造物の寿命を延ばすことです。阪神高速技術では、これまで阪神高速道路を見守り続けてきた技術力と蓄積されたデータベースを活用し、高い水準での維持管理サイクルを提供しています。



今までの経験を活かし、道路維持管理のスペシャリストとして阪神高速道路を見守り続けます!!



## 高速道路を守るための なくてはならない仕事

近接目視や非破壊検査など、あらゆる方法を駆使し、様々な角度から構造物の状況を把握し適切に点検、診断しています。また、損傷の発生状況を分析し、最適な時期に適切な補修を行う維持管理に取り組んでいます。



高速道路の維持管理が更に求められる時代になってきているよ。これからは、今ある高速道路を大切に守りながら使っていくことが重要なんだ!!



# 維持管理って具体的には どんなことしてるの？



例えば…

## ポットホールの補修

経年劣化により発生するポットホール(道路舗装の穴)の補修などを行っています。損傷発見時の応急措置やその後の恒久補修に加えて、将来的にポットホールが発生しそうな場所を精査し、予防的に補修することで、損傷の発生を抑制することにも取り組んでいます。



走りやすい道を維持するために、  
ポットホールを見つけたら迅速に  
対応しています!!



例えば…

## トンネル非常用設備の点検・整備

トンネル内火災等の不慮の事故からお客さまを守るための重要な設備である火災検知器や、トンネル内の換気を担うジェットファン等の設備の点検・整備を行います。緊急時に正常に作動するよう、定期的なメンテナンスはとても重要になります。



ジェットファン



火災検知器

高速道路には、人命に関わる重要な  
設備がたくさん。わずかな見落  
としてもならないよう、毎日気を引き締  
めて取り組んでいます!!



# 高速道路の維持管理って なにしてるの？



例えば…

## ジョイントの取り替え

阪神高速道路は約8割が橋梁区間となり、橋梁のつなぎ目をジョイントと言います。ジョイントの種類も様々ですが、どのようなジョイントでも、繰り返し車両が通行することで、疲労や摩耗など劣化が発生します。これらの劣化が進行すると、ジョイント部に段差が生じる等、走行性や安全性に問題が発生します。このため、阪神高速技術では、これらの劣化を点検で把握し速やかに補修することで、快適な高速道路が維持されるよう努めています。



都市高速は橋梁区間が長くなるため、つなぎ目であるジョイントのメンテナンスや改良はとっても重要なんだ!!



例えば…



## 交通事故防止のための安全対策

お客さまがより安全に運転できるよう、様々な安全対策を行うことも維持管理の一部になります。例えば、都市高速ならではの右側からの合流部に、立体文字の案内を設置したり、出口や分岐部の手前でカラー舗装を行い視認性を高めるなど、よりドライバーの方が走行しやすい高速道路となるように改良しています。また、カーブ区間では超高輝度反射板を設置し、夜間でもカーブの線形をわかりやすくするなどの対策も行っています。



立体文字



カラー舗装

より安全・安心・快適な高速道路  
を目指して、日々改良しています!!



## 維持管理にはどれだけの人が関わってるの？



### 高速道路はたくさんの人の手によって守られています

ポットホルルの補修にもたくさんの人の手がかかっています。例えば、安全に工事をするために道路を規制する人、傷んだ舗装を取り替え穴を埋める人、工事が問題なく完了するよう工程や品質を管理する人などです。もちろん、直接工事に関わる人だけでなく、近隣住民の方の理解と協力があってこそ、高速道路の維持管理は成り立っています。



日頃の何気なく走っている高速道路も、多くの人の協力によって守られているんだ!!



### 阪神高速技術の役割

高速道路の維持管理にはたくさんの人が関わっているため、阪神高速技術が主となって役割分担を取り決め、それぞれが専門分野の仕事に取り組んでいます。その中で阪神高速技術の主な役割は、現場着手に先立ち施工計画を立案したり、工事にあたっての関係各所との協議や、工事全体の監督や調整といったものになります。また、点検においては、点検結果を精査し、損傷の確認やランク付け、対応方針の検討などを行っています。



維持管理工事ではたくさんの人が関わり複雑な工程を経るので、全体をまとめる阪神高速技術の役割がとっても重要になるんだ!!



# 維持管理で なにがよくなるの？



## 高齢化が進む阪神高速道路

阪神高速道路は1964年(昭和39年)の開通から50年以上が経過し、「道路構造物の高齢化」という課題に直面しています。また、1日約72万台(2019年度平均)という交通量に加え、大型車の通行が多いため、道路への負荷がかかりやすい状況となっています。



関西の経済を支えている阪神高速道路には、その分だけ大きな負担がかかっているんだ…



## 維持管理で長寿命化を実現

阪神高速道路をこれからも安全・安心・快適に利用するには、日々の維持管理がとても大切になります。適切な維持管理を行っていくことで、阪神高速道路をより長持ちさせることができるのです。そのために、阪神高速技術では、日々の阪神高速道路の健康状態を点検し、診断し、補修するといった従来の活動だけではなく、計画的な維持管理を進めていくことで、道路構造物の耐用年数を延ばすように努めていきます。



長寿命化実現のために、  
これからも挑戦し続けます!!



